

2016年6月政情(内政・外交)

1 内政

(1)閣僚交代

ア 保健大臣(6月28日付)

(旧大臣)フランシスコ・ハビエル・テリエンテス

(新大臣)ミゲル・マージョ・ディ・ページョ(前職:同省次官)

イ 農牧開発大臣(7月1日付)

(旧大臣)ホルヘ・アランゴ

(新大臣)エドゥアルド・エンリケ・カルレス(前職:農牧市場研究所(IMA)所長)

ウ 治安大臣(6月28日付)

(旧大臣)空席

(新大臣)アレクシス・ベタンクール・ヤウ(前職:同省次官)

(2)公共調達法改正法案の差し戻し

ア バレーラ大統領は、本年4月29日に議会で承認された公共調達法改正法案に関し、入札公示期間、医薬品及び医療機器等公衆衛生にかかる入札、契約不履行の際の保証人への猶予期間等の8項目を対象として部分的拒否権を発動した。

イ 今回の大統領の部分的拒否権発動により、改正法案は、第2読会(総会)に差し戻されることとなり、該当する8項目について改めて審議が行われることとなる。

2 外交

(1)カリブ諸国連合(ACS)首脳会合(キューバ)

ア 4日、ACS首脳会合に出席したバレーラ大統領は、演説において、日本をはじめとするOECD加盟国との租税情報交換協定交渉を始める等金融システムの強化に取り組んでいること、米州地域人道支援センター設立及びベネズエラへの連帯とコロンビアの和平プロセスへの支持について述べた。

イ 同日、ソリス・コスタリカ大統領と会談したバレーラ大統領は、麻薬の生産が増加していることへの懸念、麻薬取引やその他の違法行為に対処すること、治安に関する情報交換メカニズムを強化する必要性について一致した。また、非正規移民が人道的な扱いを受けるための対策を講じるよう希望する旨述べた。

(2)SICA首脳会合(ホンジュラス)

ア 30日、SICA首脳会合に出席したバレーラ大統領は、「治安、保健及び経済統合という国民に豊かさをもたらす分野における情報交換を強化しなければならない。犯罪と闘うことを可能とするためには人材育成や経験及び成果を共有できるような信頼醸成措置が必要である。また、非合法活動に関与した者に関する情報をやり取りできるような出入国管理における情報交換も重要である。中米は平和な地域であるが、域内住民5,000万

人が抱える問題が解決され、その必要性が満たされるよう民主主義を機能させなければならない」旨述べた。

イ 会合には、サイン・マロ副大統領兼外務大臣及びナバーロ外務次官が同行した。

(3) 第46回OAS総会(ドミニカ(共))

ア OAS総会

14日、OAS総会において、サイン・マロ副大統領兼外相は、民主主義の原則としての市民参加の重要性、汚職対策に関してバレーラ政権が掲げる透明性の確保にかかる政策について強調した。

イ セデーニョ・ドミニカ(共)副大統領との会談

13日、サイン・マロ副大統領兼外相は、セデーニョ・ドミニカ(共)副大統領と会談し、貧困対策のグッド・プラクティスを共有することで合意した。

(4) 拡張運河開通式典に出席した各国代表との会談

ア 衛藤特派大使

25日、バレーラ大統領は、衛藤特派大使と会談し、「パナマとの関係強化のため、安倍総理とともに衛藤特派大使が果たした役割に感謝する。5月26日にメトロ3号線整備事業を開始することができた。メトロ3号線運行開始の暁には、両国の関係は最高の瞬間を迎えるであろう。租税情報交換協定のように議会の承認が必要となる特定のテーマを前進させるために(パナマ側の)友好議員連盟を結成したい」旨述べた。

イ 蔡台湾総統

27日、バレーラ大統領は、蔡台湾総統と会談した。今回のパナマ訪問は、蔡総統にとって就任後初の外遊となった。会談では、治安、教育及び保健分野における二国間協力について協議された。バレーラ大統領は、台湾からの支援により犯罪が減少したことまた、学生交流、教育施設建設及び通学バス等の教育分野における台湾からの援助について感謝の意を表明した。

ウ カルテス・パラグアイ大統領

27日、バレーラ大統領とカルテス・パラグアイ大統領は、航空路線の接続の強化、コロナフリーゾーンを通じた輸入のためパラグアイ企業のパナマにおけるプレゼンスを強化すること、また、治安、通商及び農牧分野における協定を増やすことに合意した。

エ 姜韓国国土交通部長官

27日、バレーラ大統領と会談した姜長官は、様々な国際会議において、パナマが韓国を支持してきたことに感謝の意を表すとともに、朴大統領がバレーラ大統領の韓国訪問に関心を有している旨伝えた。

オ ホルネス・ジャマイカ首相

27日、バレーラ大統領とホルネス首相は、パナマ人学生のジャマイカへの語学留学及び観光業の強化につき協議した

カ ベル仏特派大使

(ア) 27日、ベル仏特派大使と会談したサイン・マロ副大統領兼外務大臣は、「フランスが

租税情報交換に非協力的な国のリストにパナマを含めたことで生じた両国間の緊張を解決するためには、フランスが同リストからパナマを削除する必要がある」旨述べた。

(イ)一方、ベル特派大使は、「オランダ大統領の代理としてフランスは、両国の信頼関係を再構築するためにパナマと協議する意思を有するとの言葉をお伝えする」旨述べた。また、両国は、租税情報交換に関する協議を継続すること、平和、安全及び持続可能な発展に対する脅威と闘うことで一致した。

キ 27日、サイン・マロ副大統領兼外務大臣は、ハベビ・イスラエル首相府大臣及びアッシャー・蘭副首相と会談した。

(5)コロンビア政府とFARCの和平合意

22日、パナマ政府は、コロンビア政府とFARCが紛争の終結と武装解除に合意したことを祝福する声明を発表した。